

青春の実験箱

小田原市立城山中学校

第3学年通信

第4号

2021年10月12日(火)

将来の夢につながる学校選びを

秋、3年生にとって進路をじっくり考える季節です。「高校は入ることばかりでなく、出るときのことを考えて選ぶ所」ということを忘れてはいけません。自分の将来の夢につながる学校であることが大切です。小学校、中学校のように近所にあるとはかぎりません。「試験の日に初めて校舎に入った」というのでは、3年間も通う学校として、真剣に選んだとは言えません。「百聞は一見にしかず」という言葉があります。人の話やパンフレットばかりに頼らずに、実際に自分の足を運んで、自分の目で見てくることが一番です。新型コロナの影響でまだ1校も見学できていない人がありますが、必ず自分自身で下調べしておくことが大切です。



<学年委員会を経験して>

私は学年委員会を経験して、自分の中で2つ変化したと実感します。1つ目は、クラスをまとめる責任感です。私は今こうして懂れていた「学年委員」を初めて務めさせていただいています。学年委員とはクラスの中で最もしっかりと、みんなに認められる人間でなければいけないと思い、積極的に行動をするなど、自分でできることはたくさんやってきたと思います。また、当たり前の行動も心がけました。話を聞くなどクラスに良い影響が、クラスのみんなに喜んでもらうよう、1組のみんなは気づいていないかもしれませんが頑張りました。2つ目は、交流の大切さです。初めて同じクラスになる人もたくさんいて、こんな私が学年委員になっていいのかと思った人もいます。だから、私は積極的に話しかけたり、よくしゃべったりなどみんなとの交流を深める

努力をしました。今では仲良しこよしの3年1組で、とても楽しいです。3年生の学年委員という、重要な役割を務めさせていただいたことは、とても誇りに思います。みんなの力や協力があつたから学年委員をやり遂げられたと思います。本当に、半年間ありがとうございました。(1組 N. Eさん)

私は今まで1年生の時から合わせて三度の学年委員会を経験してきましたが、今回でそれも終わりです。今回は少し悔しさが残る委員会活動でした。なぜなら私たちが夏休み前から計画してきた修学旅行の当日運営ができなくなってしまったからです。旅行の細かいルール決めや運営のための準備、班編制など様々なことをやってきて、ついに9月に実行と思っていましたが、そうはならず、2度目の修学旅行の延期、そして旅行場所の変更等があり、私たちが旅行に直接関わることはもうできなくなってしまいました。ですが、修学旅行自体がなくなった訳ではないので、次の学年委員に旅行は任せて私たちは前期でやったことを生かしサポートしていきたいと思います。修学旅行は中止になってしまいましたが、運動会や普通に登校し学校生活を送ることができたので、悔しさは残りつつもできる範囲のことはできたのかなとは思っています。これで3年間やってきた学年委員が終わると思うと少しさみしいですが、まだ後期があるので今までの経験を生かし後期学年委員や学年みんなのサポートをして行けたらなと思います。とてもやりがいのある委員会でした。(1組 T. Kさん)



僕は前期学年委員になりました。昨年も後期学年委員会に所属していました。昨年の経験を生かし活動してきました。学年委員会を経験して2つのことを感じました。1つは仲が良いことです。運動会では自分のクラスではない人も応援している姿が見られました。もう1つはみんな協力的ということです。僕が学年委員の仕事をしていると、近寄ってきて「手伝うことある？」とか「やろうか？」とか声をかけて、積極的に行動してくれます。この2つが僕が感じたことです。学年委員の仕事は終わってしまいましたが、最後の委員会まで頑張りたいです。委員会が変わっても、クラスがより良い方向に向かっていくように全力を尽くしたいです。(2組 K. Tさん)

私は学年委員になって成長したことが2つあります。1つ目はまとめる力が付いたことです。学年委員は初めてだったので、どのように話し合いを進め、まとめればいいのかわからないことがたくさんありました。ですが、係・委員会決めや修学旅行の班決めを通して、だんだんクラスをまとめることができました。2つ目は積極的になったことです。私は人前に立つことが苦手なので自ら物事に挑戦することは少なかったのですが、学年委員になって人前に立つ機会が増えてから緊張に慣れることができ、積極的に行動するようになりました。学年全体では新学期が始まってすぐのときは、違うクラスの人と廊下で話をする人が多くいましたが、クラスに慣れてきて同じクラスの友達と話す人が増えたように感じます。運動会や学習発表会に向けての合唱練習などで、前期学年目標「PLUS ULTRA～更に向こうへ～」とあるようにクラス、学年が協力して前進することができたと思います。また、これからは受験に向けて3年生一人一人が前進していけばいいと思います。(2組 N. Eさん)



僕は今年で3回目の学年委員でした。その中でも今年はクラスのみんなや学年全体の成長を大きく感じる半年でした。まずはクラスからです。クラス替えをしてすぐ先生も新しかったので、僕自身馴染みにくいのかなと思ったら意外と早く馴染めました。クラスの雰囲気も良く、クラスが同じだった人もいて、話し合いのときも積極的に話したり、発言をするのも活発になったりして、3年生としての自覚を感じてきているなと思いました。しかし、課題点ももちろんあり、例を1つ挙げると授業の準備をしていないということがあります。これはとても良くないです。でもそれをも笑いに変えてしまうのが3組の良いところだと僕は感じています。新型コロナウイルスの影響で様々なことが延期となっているのに、ここまで仲が深まるのもすごいし、3組は本当に最高のクラスです。次は学年についてです。1年生のときと比べて成長したのはもちろん、3年生の最初のときよりも成長をしていると感じています。この成長を先生方はもちろんみんなも絶対に感じています。だからこそまだまだ成長できると僕は信じています。学年委員は僕にとってとても大きな成長を与えてくれた言わば親みたいなものです。残り半年も勉強など大変だと思いますが、

初心を忘れず楽しい中学生を送れるよう努力していきたいと思います。(3組 R. Hさん)

私は前期学年委員長を務めさせていただきました。学年委員長として、1・2年生の時よりテスト予想問題を遅れずに作れたり、委員会の話し合いをより活発にできたり、学年の遊びでは自分たちで計画から実行までできて達成感が感じられました。クラスでは何か決め事があるとみんなが協力してくれてすぐに決まり、本当に助かりました。また、明るく楽しい雰囲気なので、これからもさらに仲が深められるようにしていけたらと思います。最初私は学年委員長になって、しっかりできるか不安でしたが、周りの学年委員やクラスのみんなに支えてもらい、最後までできてよかったです。一つ心残りなのが、修学旅行に行けなかったことです。学年委員で計画していたので行けなかったことは残念ですが、また行くことができたならうれしいです。コロナの影響でいろいろなことが制限されてしまいましたが、学年全体で活動することができてよかったです。(3組 R. Sさん)

◆校内に歌声が響き渡っています

いよいよ合唱発表会に向けた練習が始まりました。緊急事態宣言の影響で発表会の取り組みが遅れていましたが、2年ぶりの合唱ということで各クラスとも真剣に合唱に取り組んでいます。今年はコンクールではなく、発表会となり順位こそつきませんが、各クラスの演奏に合った曲目賞が贈られます。クラスの協力と努力ですばらしい合唱にいきましょう。下級生への模範となる演奏を期待しています。

各クラスの取り組み状況を合唱係にまとめてもらいました。

- 1組(曲名:虹、指揮:Aさん、伴奏:Sさん)…自信をもって声を出し、最初の音をそろえる事を目標にパート練習を頑張っています。
- 2組(曲名:結～ゆい～、指揮:Hさん、伴奏:Eさん)…一人一人の歌声が小さいので、まわりの声を聞く等の工夫をして頑張っています。
- 3組(曲名:ヒカリ、指揮:Sさん、伴奏:Iさん)…他の学校の発表を見てイメージをつけ、高低音が出せるように練習しています。

「保護者の眼差し」として寄稿をお待ちしています

地域や家庭での生徒の様子をはじめ、日常感じられたことを400字前後の文字にまとめてお知らせください。担当は石井秀知(Tel34-0209)です。

